

令和2年上半期分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和2年上半期分について、輸出は「自動車」などが増加したものの、「石油製品」、「荷役機械」などが減少したことから対前年同期比18.6%の減少となった。また、輸入は「家庭用電気機器」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同27.5%の減少となった。
その結果、差引額は2,431億円（同37.3%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	3,460億円	▲18.6%	5,891億円	▲27.5%	▲2,431億円	▲37.3%
	2期連続の減少		2期連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	317億円	+35.1%	輸入	増加品目	(1) 家庭用電気機器	30億円	+39.6%
		(2) 原動機	94億円	+30.2%			(2) 非鉄金属鉱	79億円	+10.1%
		(3) 写真用・映画用材料	67億円	+38.8%			(3) 音響・映像機器（含部品）	14億円	+26.3%
	減少品目	(1) 石油製品	385億円	▲35.7%		減少品目	(1) 原油及び粗油	2,816億円	▲33.1%
		(2) 荷役機械	19億円	▲83.9%			(2) 液化天然ガス	1,238億円	▲22.8%
		(3) 電気回路等の機器	312億円	▲22.4%			(3) 液化石油ガス	186億円	▲32.9%
地域別動向	増加：西欧 減少：アジア、中南米			地域別動向	増加：北米 減少：中東、アジア				

（参考）ドルレートは、108.37円（前年同期比1.7%、1.91円の円高）であった。

（注）令和2年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したものの。